



- 第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐる 平成18年9月19日  
講師/佐倉 一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部长  
樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日  
講師/久米 えみさん ながのクラッセ会長  
樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日  
講師/鷺沢 幸一さん アスレながの事務局長  
室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事

第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日  
講師/清水 隆史さん フォトグラファーほか 常盤 昭二さん CMディレクター

第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日  
講師/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェエダ・健康セラピスト

第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOiGOの設計に参画して 平成19年4月23日  
講師/竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長 [一級建築士]

第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日  
講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督

第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日  
講師/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト

第9回 トウガラシの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日  
講師/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授

第10回 命のバトンを渡す「ピオトープ」/長野市をピオトープネットワークシティに 平成19年11月14日  
講師/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授

第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日  
講師/浜 このみさん クッキング・コーディネーター

第12回 あなたのからだは「築何年」ですか? 平成20年7月14日  
講師/角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長

第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日  
講師/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)

第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日  
講師/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長

第15回 長野バルセイローー優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日  
講師/バドゥ・ピエイラ監督、薩川了洋コーチ、真富信宏キャプテン

第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日  
講師/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事

第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日  
講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士

第18回 循環備蓄型の農業の実践ー宇宙のリスムにあった農業で一次産業の再生を試みるー 平成21年6月3日  
講師/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役

第19回 郷土を包む「おやき」平成21年7月14日  
講師/小出 陽子さん (同)ふきっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー

第20回 信州の伝統から生まれる食文化ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日  
講師/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋

第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日  
講師/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よっごらしよ 代表理事

第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日  
講師/薩川 了洋さん AC長野バルセイロ新監督

第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぼ〜 平成22年5月25日  
講師/石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役

第24回 3度目でつんだオリンピック出場 平成22年7月28日  
講師/新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務

第25回 逃げないスケルトン ~夢と感動と勇気を~ 平成22年9月15日  
講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属

第26回 Go to J ~"J"を長野に~いよいよ地域決勝大会!~ 平成22年10月25日  
講師/鈴木 政一さん 長野バルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長

第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日  
講師/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ

第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日  
講師/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表

第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日  
講師/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長長野県隊長(第二次派遣隊)

第30回 江戸のエコロジストー茶 平成23年8月30日  
講師/マフソン 青眼さん 俳人・比較文学者

第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日  
講師/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員

第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日  
講師/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役

第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日  
講師/飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営

第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日  
講師/相原 哲さん ながの町神輿連合会武蔵会 会頭

第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日  
講師/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務

第36回 すべてが一丸となって“ながのの宝もの”をJへ 平成24年4月24日  
講師/薩川了洋さん AC長野バルセイロ監督

第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日  
講師/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員

第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法 平成24年9月27日  
講師/塩澤 研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事

第39回 善光寺表参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日  
講師/俣田 達男さん NTT東日本 長野支店長

第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日  
講師/山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役

第41回 自然との共生 平成25年2月28日  
講師/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家

第42回 花は人を育てる 平成25年4月9日  
講師/矢澤 秀成さん 園芸研究家/ながの花と緑そして人を育てる学校校長

第43回 人と組織の笑顔の創造 平成25年5月31日  
講師/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長

第44回 信州の分水嶺 ~山と川と里~ 平成25年8月22日  
講師/栗田 貞多男さん 写真家

第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性 平成25年11月20日  
講師/鴨志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長

第46回 地域におけるバイオマス利活用について 平成26年1月29日  
講師/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授

第47回 AC長野バルセイローー私のチームマネジメントについて 平成26年3月3日  
講師/美濃部 直彦さん AC長野バルセイロ監督

第48回 わたしにとってのボランティア 平成26年4月16日  
講師/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長

第49回 金沢の未来と長野へのエール 新幹線で結ぶ金沢と長野の絆 平成26年5月26日  
講師/浅野 邦子さん 株式会社 筑一 代表取締役会長

第50回 取材を通してみた長野の魅力 ~長野をもっと元気に!~ 平成26年10月8日  
講師/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

第51回 チームマネージメント 平成27年1月19日  
講師/本田 美登里さん AC長野バルセイロ・レディース監督

第52回 本物のおもてなし ~加賀屋の経営理念とビジョン~ 平成27年3月17日  
講師/小田 與之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長

第53回 地域の元氣をつくる「成長企業」は、ここが違う! ~地方の中規模企業が成功するための法則とは?~ 平成27年7月1日  
講師/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長

第54回 長野から宇宙へ! ~ローカル企業のチャレンジ~ 平成27年8月25日  
講師/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役

第55回 食を通じて発見 知られざる長野の魅力! 平成27年10月8日  
講師/中島 麻希さん 1級フードアナリスト

第56回 摩訶不思議!長野の神社の靈感の世界 平成27年11月17日  
講師/齋藤 安彦さん 宮司

第57回 大河ドラマ「真田丸」の舞台裏 ~撮影を通して見た信州の魅力~ 平成28年4月2日  
講師/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー

第58回 真田丸の時代を語る ~時代考証の舞台裏 平成28年7月2日  
講師/平山 優さん 歴史研究家

第59回 寺町商家の運営で気づいた`食`の力 平成28年8月30日  
講師/西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー

第60回 地域から社会を変えよう! 行動する人の集まる港CREEKS 平成28年11月11日  
講師/広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬毅建築設計室代表

第61回 長野バルセイローー今シーズンの目指すチームづくり 平成29年3月13日  
講師/浅野 哲也さん AC長野バルセイロ監督

第62回 輝く女性の活躍で長野県の企業を更に魅力的に! 平成29年5月30日  
講師/中島 恵理さん 長野県副知事

第63回 信州は橋の都 千曲川と犀川に架かる名橋、日本一美味しい飯山のお米 平成29年7月19日  
講師/服部 秀人さん 信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー

第64回 少子高齢化時代の長野市を考える ~行政の政策現場から見えるもの~ 平成29年8月23日  
講師/平尾 勇さん 長野県観光機構エグゼクティブ・プロデューサー (前松本市商工観光部長)

第65回 長野県を元気に! メンタルヘルス(心の健康)からの大きなヒント! 平成29年9月21日  
講師/野池 裕子さん ダイヤモンド・セルフ長野ファースト 代表・講師

第66回 陶芸の楽しみ 平成30年3月23日  
講師/愛甲 宏明さん 炭平コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長

第67回 話すって難しい? 平成30年4月23日  
講師/坂崎 克明さん フリーバーソナリティー

第68回 中世善光寺如来堂東向き 平成30年7月5日  
講師/宮下 秀樹さん 株式会社守谷商会 執行役員、国立長野高専客員教授



**NUPRI**  
Nagano Urban Policy Research Institute

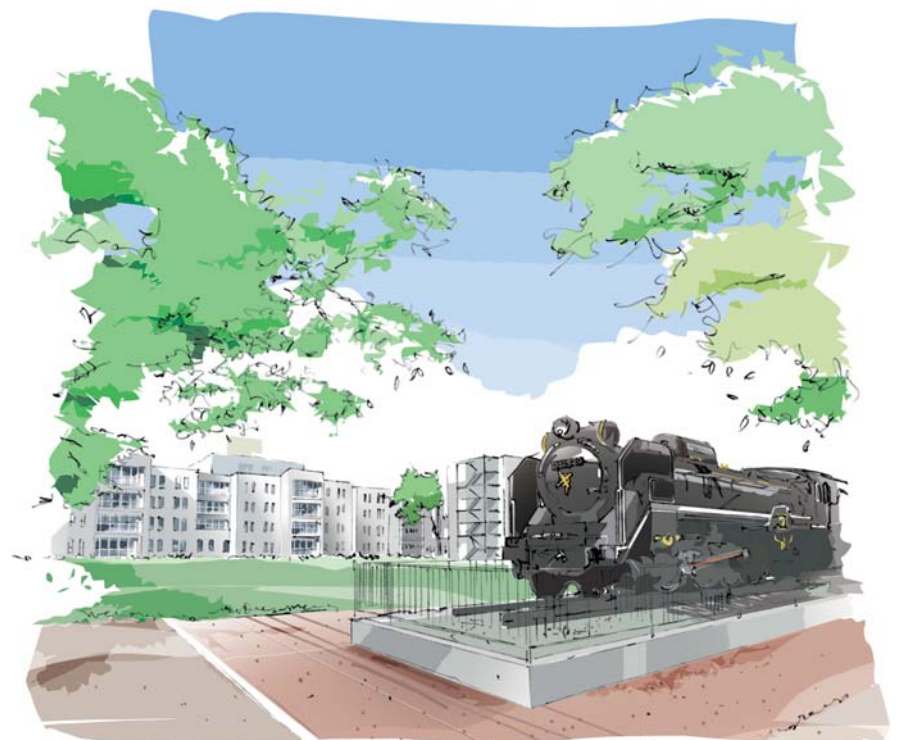
NPO法人  
長野都市経営研究所

〒380-0834  
長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F  
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166  
www.nupri.or.jp  
e-mail:nupri@nupri.or.jp

# わいがやサロン

# 通信

Vol. **69**  
2018.8



長野県立大学、後町キャンパス象山寮  
後町小時代に校庭に設置されたSLが見守る

**NUPRI**  
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所



第69回

# これからの長野における大学教育 ～人生100年時代の生き方と学び方～

8月23日(木) 18:00～20:00

講師／金田一 真澄さん

公立大学法人 長野県立大学 学長

■座長：岩野 彰 場所／NUPRI事務所



きんだいち ますみ 1949年、東京生まれ。早稲田大学理工学部電気工学科に進学し半導体の研究後、言語学・ロシア語研究に転じ、同大研究科・東京大学で露語露文学専攻(文学博士)。1989年より慶應義塾大学理工学部にて露語教育に携わり2014年定年退職(名誉教授)。同大日吉キャンパスのカリキュラム策定およびキャンパス全体の総責任者も務めた。露語に関する著作多数。金田一春彦記念図書館名誉館長(山梨県北杜市)。

記録的な猛暑に堪えかねた晩夏の宵、今年4月に開校なった長野県立大学学長の金田一真澄さんから掲題のお話をいただきました。

## 自然豊かな地・長野への憧れ

父がとても暑がり屋で研究を涼しいところでしたいと八ヶ岳の原野に別荘を建てたのは私が高校生のころ。プロパンガスはジープで運んで、水は井戸を掘って、野菜を育て、夜は星を見て過ごす……自然というものがいかに素晴らしいかということを実感しました。退職して間もなくの4年前、長野県立大学の学長を引き受けてくれないか、という話が舞い込んできました。50年間の夏の生活が自然豊かな地・長野への憧れを膨らませ、二つ返事でお引き受けし、住民票も長野市に移して妻と二人で新しい世界に飛び込みました。

## 長野県立大学の立ち上げ

短大の四大化は他県では随分前に行われました。長野県でも25年前、六鈴会(長野県短大同窓会)が中心になって12万人要望署名が提出され、その後も六鈴会や長野市長により要望が県にたびたび出されたものの、現実化したのは阿部知事が4年制化方針を表明した7年前。有識者：北城恪太郎 日本IBM最高顧問/中村胤夫 元三越代表取締役社長/山浦愛幸 八十二銀行取締役会長らによって考えられた基本構想案：全員海外留学/全寮制等が素晴らしく、共鳴した私が学長予定者として県立大立ち上げ開始、となるわけです。理事長就任予定の安藤国威ソニー元社長と共に県内各地での説明行脚が始まりました。或る会場では怒号に包まれ緊迫した空気——株主総会で似たような経験を積んでいる安藤さんが俺に任せると「長野県民の誇りとなるような大学を創りたい」と囁んで含めるように語っていくうちに、だんだんとこちらの話聞き始め、最後には会場で拍手が起きた。その説明会を境に長野県立大学立ち上げに賛同する声が増え、流れが変わったように思います。私にとっては大変貴重な経験でした。

教員を公募すると現状の教育に飽き足らない全国の方々が次々手を挙げてくださいました。教育者としての使命感をもつ、いい先生方が集まりましたので、ぜひ期待していただきたいと思います。

## WHAT IS 長野県立大学?

時代はグローバル。当然ながら大学生にはグローバルな視点をもってもらいたい。1年次にネイティブによる英語授業を集中させ、その成果を確かめるべく2年次全学生が海外留学します。

大学とは学力を高めるだけでなく、人間として向上し、リーダーを輩出する場所。そのために1年次を全寮制とすることにより、自立心・思いやり・協調性を養います(県立大学として全寮制は秋田に1校あり)。主たる大学キャンパスは長野県短大から引き継ぐ三輪にあります。寮はこの近くの後町小学校跡地を利用。全寮制に対して本人・親双方から、家から通えるのに、お金がかかる、料理したことがなく心配、と意見多出でしたが、いざスタートすると99%が「いい」。

今までの大学はもっぱら偏差値機能を果たし、受験疲れを癒すモトリアム期間、体育会系サークルやバイト生活の場と言われ、大学の先生は何もしなかった。私の親父も勤務大学には週1回程度行くだけで、夏休みも長いので、子どもながらに楽な仕事

だな～と見ていました(笑)。

しかし今、大学に求められ、また本学が目指すものは次なる姿です。①受動から能動への学びの転換：車座になって話すことはとてもいいことで喋り方を教え、うまく話したらほめる/自ら発信できる教育②産官学のバランスのとれた連携：毎回ゲスト(成功者に限らない)に来てもらい自分の人生を語ってもらう/学生のロールモデルになる授業③地域の振興に役立つ様々な貢献：CSIというプロ組織によるセンター④高校での学びと繋がる大学入試⑤地域色を生かすグローバル教育：英語はマスト⑥人生100年時代に相応しい教育など。



車座授業風景

## 長野における教育のあるべき姿

長野に先入観のない私から言わせてもらおうと信州人は大らか。善光寺がそのよい例と言え「えっ？」と仰るかもしれませんが。宗派、男女を問わず全ての人を受け入れ、惹きつけてきたテーマパーク(御戒壇廻りほか)のお寺を支える地元民が大らかでなくて何でありましょう。一方で寺子屋が全国的に見ても多く、教育に熱心な県民性。いい意味でそうした伝統を引き継いでいくべきです。

こちらに来て、いくつかの高校を回りました。学園祭が終わると3年生の受験勉強が本格的になるという。今度はこちらが「えっ？」です。それで間に合って入学してきた子どもたち=真面目で、地頭がいいから入ってから伸びる、というだけでなくぜひ伸ばしたい。長野を知らないから勘違いしているかもしれませんが、豊かな自然に囲まれた環境にあるから、それ相応の暮らしが出来てしまうのか概して、おっとりしている印象です。恵まれているがゆえの自己肯定感に欠けるのも今の子どもたちの特徴です。地元の年代性別を超えた人たちと話したり、祭り等(今夜も事務所下の通りから祭りの笛の音がします)に関わったり、海外で過ごすことで社会を知り、言語コミュニケーション能力も高められることでしょう。

本学は2学部3学科で構成されています。うち、グローバルマネジメント学部同学科においては同市内にある信州大学工学部・国際経営大学院(イノベーション・マネジメントを掲げる)と積極的に連携していきたいとも考えています。

## 若い人を育てることは未来が広がること

少子高齢化時代、若者たちは将来に対して何となく暗いイメージをもっています。今、大学生は17人に1人が心の病を抱えているという。都会だけのことだと思っていたら、長野のように自然環境に恵まれていても同じなのは時代の流れなのか。プラス思考を持ってと言われても難しいかもしれませんが、経験上、悩みの底から救ってくれるプラス思考のきっかけになるのが笑いだと思うのです。実は私は、お笑いサークルの部長もしております。人を笑わせるというのは話術の中で一番難しい。人を泣かせるほうが、はるかに易しい。笑わず話術はプレゼンテーションの練習にもなりますし、地域の老人ホームに慰問に行くこともでき、コミュニケーション能力を高めることになる。吉本興業が病院と組んでお笑いで膠原病などの治療に貢献しようとしています。ウチもぜひこういうことをやってみたい。お笑い関係者に知り合いがいまいたら紹介してください。

金田一という姓から頭いいんじゃないかと誤解する人もいて、これまで大勢の人が私を高く評価して、私に手を差し伸べてくれました。恵まれた人生を歩んできた分、これからの人生は若い人たちに捧げ、社会に恩返ししたい。若い人を育てることは未来が広がるすばらしい仕事。卒業後も戻ってきたくなるような大学を創りたいと思っています。ご協力をお願いします。

講演後、高名な系譜ゆえの苦しさや反発もあったのではとお尋ねすると、「小学生にして国語嫌いになった」そう。後に読書体験やロシア語等に出合ったことで「嫌い、は返上した由。どうしたら若者が本を読むようになるか等わいわいがやがやしました。



今夏の長野祇園祭にて(講師中央)。花回廊にも参加。「地域の祭りに参加することで、異世代と交流等体験でき、学生にとっては『生きる力』となるのではないかと」



寮のキッチン。「自分が食べるものを自ら作る、ことに意味があるはず」

